

21～22 年度 第 1 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 7 月 7 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸 ○上原会長 前委員 ○青木・○奥山・○野口・○矢後		
1. あいさつ 上原会長、芝副会長、棕委員長より ・会員がワクワクしてもらえる企画をして欲しい。 ・企画に力を入れていきたい。(会員のため、消費者のため) 2. 自己紹介及び委嘱状授与 2. 各種報告 ・「管理建築士講習」の実施日 第二期受付：7/1～7/10（土日祭日を除く）実施日：8/10、9/8 第三期受付：11 月上旬 実施日：12/9、2/22 ・「建築士定期講習」の実施日：11/26 ・委員会の委員名簿を作成し、配布。内容を修正し、後日送付する。 3. 議 題 (1) 前年度よりの引継ぎ事項（前回の議事録を資料に使用） ・見学会（大成建設㈱技術研究所：受入OK） → 担当：野路、磯部 建築コンクールの作品巡り等も検討する。 ・法定講習（管理建築士講習）について → 各委員会へも手伝いはお願いする。 ・法定外研修の内容等について → 引き続き検討 ・新入会員セミナー実施について → 10 月と 4 月に開催予定。 ・告示 15 号に基づく業務報酬基準について → 担当：永田 国への要望（①15 号の遵守、②依頼度の廃止）は 3 会で行った。今後は、地方公共団体へ要望していく予定。 工事監理ガイドラインの内容も ・CPD について（登録方法の周知等について等） → 担当：折笠 会員向けの PR 文章等を作成する。(活用方法、メリット等も含む) ・「新規開設建築士事務所」研修会の開催（3 月及び 9 月） → 担当：臼井 開催日：平成 2 1 年 9 月 1 1 日（金） 13:00～17:00 会 場：横浜市技能文化会館 802 大会議室 2 月までにテキストを改訂する予定（12 月から準備） (2) 今年度事業について ・法定外研修の内容等について 開催時期の調整。企画したものを各委員会へお願いする。 ・工事監理ガイドラインの講習会の実施 ・設計・工事監理契約書関係の講習会の実施（8/10 改訂予定） ・近代建築のあゆみ等の企画 ・所員も参加できるような企画 ・デザイン系のグループ、意匠系事務所向けの企画 ・メール及びメーリングリストの活用をする。(スピードアップ、欠席しても意見は出せるため) ・各委員からのアイデア、企画を随時募集する。			

(3) 神奈川県建築CPD協議会のメンバーについて

- ・7/6 総会の資料を配布し、青木前委員長及び上原会長が説明。
- ・幹事として、芝副会長、棕委員長、折笠委員を推薦した。この結果を建築士会へ連絡する。
次回、8月28日 18:00～ 建築士会にて

(4) その他

- ・神奈川建築コンクールへの応募をして欲しい。
- ・JASS5の改訂講習会の実施をしたい。 → 上原会長へ依頼（学会役員のため）
- ・開催については、原則第一金曜日の15:00～とするが、12月までの日程は下記とする。
8/3、9/1、10/2、11/13、12/4 場合によっては、賛助会の商品説明等で30分程度繰り上げての開催もある。
- ・会員に有益な情報があれば、会員MLを使用して情報提供することは可能であるので、委員会から発信する方法をとる。その際は、事務局磯部まで正副委員長のいずれかが連絡する。
- ・宿題：委員会で行いたいことを提出する。

次回 平成21年 8月 3日（月）15:00～17:00 神事協会議室にて

21～22 年度 第 2 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 8 月 3 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ×臼井・○折笠・○小島・○服部・×小泉・×荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長、棕委員長より			
2. 各種報告 ・「管理建築士講習」の実施日 第三期受付：11 月上旬 実施日：2/22 ・「建築士定期講習」の実施日：11/26 ・メーリングリストの作成報告 kikakugyoumu@yahoogroups.jp (添付ファイル可能) kikaku@j-jkana.or.jp (添付不可) ・各種案内配布 ・ル・コルビジェと坂倉準三氏の案内配布 (芝副会長より資料提供) ・前回議事録の確認			
3. 議 題			
(1) 研修会等のスケジュール表について ・表の案を提出。 → 検討の結果、リアルタイムでの情報発信を行いたいので当協会ホームページ上のスケジュール表を活用する。 このスケジュール表は、支部行事等も書込みが出来るので支部で入れたい情報は、支部で入れて構わない。また、他団体講習の案内については、日時、場所を記載し、内容欄に問合せ先を掲載する方法とする。			
(2) 「新規開設建築士事務所」研修会の運営について 開催日：平成 2 1 年 9 月 1 1 日 (金) 13:00～17:00 会 場：横浜市技能文化会館 8 0 2 大会議室 ・司会：野路副委員長 受付：臼井委員、瀬戸委員 挨拶：芝副会長 (開会)、棕委員長 (閉会) とした。			
(3) 委員会への提案事項について ・各委員より提案書の提出あり、提出者が説明。 共通事項：各ブロックでの見学会実施、親睦会の実施、宣伝・情報公開 欠席者もいたため、引き続き次回の議題とする。また、本日提出の資料を次回各自で持参する。			
(4) 今年度事業について → 次回へ ・各種見学会の実施について ・法定外研修の内容等について ・新入会員セミナー実施について ・告示 1 5 号に基づく業務報酬基準について ・C P D について (登録方法の周知等について等) ・工事監理ガイドラインの講習会の実施 ・設計・工事監理契約書関係の講習会の実施 (8/10 改訂予定)			

(5) 21年度キャンペーン事業への協力について

	9/15 (火)	9/16 (水)	9/17 (木)	9/18 (金)
①10:30～15:30	小島 紀雄	藤川 好一	服部 綸子	
②15:30～20:30	永田 健治		折笠 幸男	

後日、正式に決定したらお知らせする。

(6) その他

- ・「四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約書類」等について

講習会を実施する予定。場合によっては、講師になる方を現在募集している講習会に出席して頂き、開催することも考える。その場合の講習会費は、神事協負担とする。

次回、平成21年9月1日(火) 15:00～ 神事協会議室にて

※本日の資料であるNO. 3を持参すること。

21～22年度 第3回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成21年 9月 1日 (火)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・○服部・○小泉・×荻田・○永田・○瀬戸		

1. あいさつ 棕委員長より

2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認
 ・ 「管理建築士講習」 第三期受付：11月上旬 実施日：2/22
 ・ 「建築士定期講習」 第三期受付：8/31～9/11 実施日：11/26
 ・ その他 各種講習会案内等配布

3. 議題
 (1) インターンシップ制度について

・ 士法改正により大学院の修士課程が実務経験として認められなくなったため、インターンシップ制度を利用することにより実務経験として認められるようになる。
 そのためには、学生を受け入れられる（協力できる）設計事務所等が必要になるため、協力事務所を今後は募っていきたい。（アンケート等の実施）
 → 会としては協力するが、協力できる事務所があるかは不明。

・ 建築士会が作成したインターンシップガイド（資料として配布）をもとに実施する予定。
 内容を確認して欲しい。

・ バイトとは違い、大学側と協力事務所が契約を結び、有償にて受け入れる。

・ 各会との合同委員会は、次回より野路副委員長が出席することとした。

(2) 業務報酬基準と工事監理ガイドライン講習会について（技術調査委員会と共同）

・ 新・建築士制度普及協会からの委託事業（一部）である。
 神奈川県としては、士会と神事協で合同契約となる。（県単位での契約のため）
 講習会の募集受付は、普及協会が行い、当会としては講習会当日に受付等のお手伝いがある。
 無料の講習会なので、是非申し込むと共にお手伝いの協力を依頼した。
 神事協の担当は、10/29 横浜市開港記念会館 講堂 12:30～

・ 講習会実施（業務報酬基準を含めて） 10/14 海老名(士会) 10/29 横浜(神事協)
 業務報酬基準講師：士会の方、工事監理ガイドライン：増田理事
 上記2名の方は、9/25に開催される講師講習会を受講していただく。

(3) 委員会への提案事項について（前回に引続き ※各委員より提案書の提出あり）

→ 次回へ

(4) 今年度事業について

・ 各種見学会の実施について

①大成建設技術センター見学会実施について（下見打合せ 10/21 15:00～ 野路、磯部）

②ライトの見学会実施について 開催日：10/2 17:00～ 会場：自由学園 明日館
 開催案内を作成し、会報9月号に同封する。また、講師依頼作成し、三沢氏へ送付する。
 会費：3,000円（お茶、菓子付） 講師料：30,000円（手取り）＋お車代 5,000円
 定員：50名（先着申込順） 講師を囲んでの懇親会を実施予定（希望者のみ）
 NPO法人ライトウェイソサエティ日本には、協力をお願いする。

・ 法定外研修の内容等について → 今後も検討。

- ・新入会員セミナー（無料）実施について
→ テキストについては、磯部が担当し案を作成する。
- ・告示15号に基づく業務報酬基準について
→ 講習会(10/29)が終了したら検討を始める。
- ・工事監理ガイドラインの講習会実施について → 議題（2）にて開催する。
- ・CPDについて（登録方法の周知等について等） 参考として前回の周知分を配布
8/28 CPD 協議会の出席報告。
市民にPRすることも目的であるので、民間へのPR方法（例、市民の目に触れる場所にチラシを配置する等）を検討。
また、内向きとしては建築士を持っていない人も参加できるようにしたい。
- ・設計事務所としてのCPDの活用方法、市民向けのチラシの作成が必要。

→ 会員に何を望んでいるのかのアンケート調査を実施する。アンケート案を折笠委員が作成する。
- ・設計・工事監理契約書(8/20 改訂)関係の講習会実施について
(社)日事連より実施企画の案内があった。
開催時期：11月以降、時間（予定）：13:00～17:15
受講料等については、テキスト代込みで会員価格を10,000円とする。
- ・実施についての意向調査回答期限が9/18なので、開催すると回答する。
- ・講師養成講習会への出席者については、講師の要件をみたす方3名を選出する。

（5）木造工法（企業名：シェルター）についての資料配布（佐藤広報情報委員長より）

- ・賛助会にも入会したようだ。

→ 木造特別委員会にて研修会の企画を行なう。

（6）その他

- ・全てを網羅できないので、観たいもの、時期、見所等を公開しては？
この委員会でまとめられないか？
→ 本来ならばホームページの掲示板等を利用して公開するのが良いが、スケジュール表に各支部の活動として掲載するのが良いのでは？

次回 平成21年10月2日（金）16:00～ 自由学園 明日館 小教室（マニャーナ）にて

21～22 年度 第 4 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 1 0 月 2 日 (金)	会 場	自由学園 明日館
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ×臼井・○折笠・×小島・○服部・○小泉・×荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 「管理建築士講習」 第三期受付：11 月上旬 実施日：2/22 ・ 膜構造についての見学会への参加協力を依頼。			
3. 議 題			
(1) 福祉の街づくり条例の改正講習会（神奈川県、川崎市）			
・ ガイドブック 1,500 円程度 ・ 12 月 8 日 関内小ホール仮予約（10/7 までに回答）260 名程度 講師（県、川崎市）へ打診し、了解が取れば上記日程で開催する。 ・ 会費については、会員：3,000 円（テキスト代込）、一般：5,000 円（テキスト代込） とした。			
(2) 業務報酬規準と工事監理ガイドライン講習会の運営について			
・ 10/29 横浜市開港記念会館 講堂 13:00~16:15 司会：藤川副委員長 開会挨拶：上原会長 閉会挨拶：芝副会長 手伝い：6 名（棕、野路、折笠、服部、小泉） 集合：12:00 に会場へ 搬入に関しては、棕さん協力にて車での搬入を予定。（テキスト代込） ・ 申込をされていない方は、至急申込をお願いした。			
(3) 委員会への提案事項について（前回に引続き ※各委員より提案書の提出あり）			
→ 次回へ			
(4) 今年度事業について			
①各種見学会の実施について 大成建設技術センター見学会			
→ 2 2 年 3 月上旬に開催予定とした。10/21 に打合せをする。			
②法定外研修の内容等について → 次回へ			
③新入会員セミナー実施について			
→ 実施については、4 月と 1 0 月とし、会場は神事協会議室（定員 30 名）を使用する。会費は無料。 → 新規開設建築士事務所講習会と合同で開催出来ないかを今後検討する。			
④告示 1 5 号に基づく業務報酬基準について → 10/29 以降に検討を始める。			
⑤C P D について（登録方法の周知等について等）			
→ 折笠委員がアンケート案を作成中。次回 3 0 分程度の説明を行うこととした。			
⑥設計・工事監理契約書関係の講習会の実施（8/20 改訂）			
10/23 講師講習会を実施（参加者：藤川、折笠、小泉） 実施予定：1/27 横浜市開港記念会館 講堂仮予約			

→ 上記日程にて開催することとした。

会費については、会員：10,000 円（テキスト代込）、一般：13,000 円とした。

⑦新規開設建築士事務所講習会の開催について

→ 受講者数も大分少なくなっていることも考え、次回より神事協会議室にて30名定員で開催する。
また、テキストもまだあるので、再度使用する。

(5) その他

①省エネ法の改正講習会の実施について（平成22年4月施行）

→ 施行前に行う。（3月ごろ）

→ （財）建築環境・省エネルギー機構に講師派遣が出来るかを打診する。

②本日の司会：折笠委員、挨拶：上原会長、芝副会長、棕委員長とした。

③日本建築学会賞 受賞事務所 坂茂建築設計の平賀信孝氏による記念講演の実施について

・上原会長より開催提案があり、早い段階で開催したい意向もあるため、12/8の福祉のまちづくり条例の改正講習会の後の時間帯で関内ホール（小ホール）を押さえられるか確認する。

予約が取れ次第、上原会長へ連絡し、平賀氏の日程を調整していただくようお願いする。

会費については、学生：500 円、会員：2,000 円、一般：3,000 円とした。

また、日本建築学会神奈川支所には、後援を依頼する。

次回 平成21年11月13日（金）14：30～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 5 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 1 3 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・×服部・×小泉・○荻田・×永田・×瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より 大成ギャラリーでコルビジェ展を実施している。			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 日経アーキテクチャーの抜粋記事配布 ・ 12/3 賛助会フェア開催案内を配布。参加をお願いした。 ・ その他			
3. 議 題			
(1) C P Dについて(登録方法の周知等について等) ・ 折笠委員より資料の提出及び説明あり。建設業のものをモデルとした。 大小事務所の点数制。全体のランク付け(例、Aランクのみを発表する等) ・ C P D履歴管理について C P Dの管理体制を各事務所で確立する。出来ない事務所へのバックアップ体制も作る(事務局)。 ・ 本日提出の資料をわかり易く作成し直す。 ・ 会員向けのアンケート案を作成する。			
<意見として> ・ 協会としての活用方法が大事。 ・ 所員教育、外部への広報(行政への活用願い P R) ・ 会員への意識付けが第一			
(2) 次年度予算及び事業について			
<収入の部> 3,576,000 円			
①士法・基準法等の改正講習会(2 回分) 会員 4,000 円×200 名=800,000 円 一般 8,000 円×300 名=2,400,000 円 合計 3,200,000 円			
②新規開設事務所講習会(2 回分) 3,150 円×40 名=126,000 円			
③見学会(2 回分) 2,500 円×80 名=200,000 円			
④業務報酬算定方法冊子販売 1,000 円×50 冊=50,000 円			
<支出の部> 641,000 円			
①士法・基準法等の改正講習会(2 回分) 会場費 60,000 円 人件費 20,000 円 諸経費 60,000 円 合計 140,000 円			
②新規開設事務所講習会(2 回分) 人件費 16,000 円 講師料 40,000 円 合計 56,000 円			
③神奈川建築 C P D協議会 運営費 75,000 円 登録料 50,000 円 合計 125,000 円			
④見学会(2 回分) バス代 140,000 円 その他 80,000 円 合計 220,000 円			
⑤業務報酬算定方法冊子作成 500 円×200 冊=100,000 円			
<会議費> 384,000 円			
①2,500 円×144 名=360,000 円			
②C P D協議会 地域割増分 1,000 円×24 名=24,000 円			

(3) 「神奈川県みんなの街づくり条例及び川崎市福祉の街づくり条例改正」講習会の運営について

- ・ 12/8 横浜関内ホール（小ホール） 集合 13:00～
司会：折笠委員、開会挨拶：上原会長、閉会挨拶：芝副会長
手伝い：6名 棕、野路、藤川、臼井、小島、荻田 欠席者にも連絡する。
棕委員長には、車で運搬をお願いした。

(4) 「坂茂建築設計の作品」講演会の運営について

- ・ 12/8 横浜関内ホール（小ホール） 集合 17:00～
司会及び開会挨拶等については、一括して会長にお願いする。（講師紹介含む）
手伝い：6名 棕、野路、藤川、臼井、小島、荻田 欠席者にも連絡する。

(5) 設計・工事監理契約書関係の講習会の実施について（開設者研修に指定）

- ・ 実施：1/27 横浜市開港記念会館 講堂 集合：11:00（弁当を用意する）
講師割振り：藤川、折笠、小泉
- ・ 講義時間も足らないので、工事請負契約約款の解説を10分延長する。（100分）
- ・ 会員外の価格は、15,000円とする。
- ・ 案内に講師名及び定員を記載し、12月号と1月号の会報に入れて周知する。

(6) 省エネ法の改正講習会開催について（3月実施予定）

- ・ (財)省エネルギーセンターへ講師打診をした所、出前講座の利用をお願いされた。
出前講座：講師料 5万円／1時間、資料費別途、実費交通費 が必要。 → 不可能
- ・ 引き続き (財)建築環境・省エネルギー機構に講師派遣を打診する。

(7) 告示15号に基づく業務報酬基準について

- ・ 官庁施設の設計業務等積算基準等を資料として配布。
- ・ 500㎡以下も作成するが、前冊子みたいな係数等による計算が面積に応じて可能なものとしたい。
- ・ 担当：藤川、永田、荻田

(8) 委員会への提案事項について（前回に引続き ※各委員より提案書の提出あり）

- ・ 建築見学ウォーキングマップ等を作成したら面白いのでは？
人数を集める必要もなくなるので・・・
担当：小島

(9) 今年度事業について

①大成建設技術センター見学会（22年3月上旬ごろの開催を打診中）

- ・ 2回開催することを計画。開催日程が決定次第、会報等にて周知する。

②法定外研修の内容等について → (社)日事連で初めて上記(5)の講習会が指定された。

③新入会員セミナー実施について → 新規開設建築士事務所講習会と合同で行う予定。

- ・ 新規の後に開催し、会の概要説明（事務所協会の仕組み、委員会の活動等）を行っては？
また、新規開設建築士事務所講習会は、会員参加の場合は無料としては？

(10) その他 → なし

次回 平成21年12月 4日（金） 15:00～17:00 神事協会議室にて 忘年会も実施予定

21～22 年度 第 6 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 1 2 月 4 日 (金)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 芝京子 ○棕委員長・×野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) 臼井・○折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		

1. あいさつ 棕委員長より

2. 各種報告

- ・ 前回議事録の確認
- ・ 「神奈川県みんなの街づくり条例及び川崎市福祉の街づくり条例改正」講習会の運営確認
次第及び集合時間を確認した。
- ・ 「坂茂建築設計の作品」講演会の運営
講演者の平賀氏が急病のため講演を中止したい旨の連絡があった。現在、上原会長が代替
講師を依頼中であるが、中止の可能性が高い。連絡が入り次第決定する。
次第（参加者には配布しない）にてスケジュールを確認。また、質問票を最初の休憩まで
に受講者に提出していただき、上原会長がピックアップして講演者にお聞きする。
- ・ 次年度予算及び事業について（提出案の報告）
前回議事録の通り予算書等を作成し、総財務委員会へ提出した。
- ・ その他

3. 議 題

(1) インターンシップについて（協力事務所調査アンケート）

- ・ 建築士会作成のアンケート実施に係る会員への資料を配布し、一部変更及び修正し会報 1 月号と共に
会員へ送付することとした。また、回答期限については、平成 2 2 年 1 月 1 5 日とした。
- ・ 1 2 月 1 0 日の理事会へも報告する。

(2) 設計・工事監理契約書関係の講習会の実施について（開設者研修に指定）

日時：平成 2 2 年 1 月 2 7 日（木）12:00～16:45 集合：11:00（弁当を用意する）
会場：横浜市開港記念会館 講堂

講師割振り：後日決定（講師の方々（藤川副委員長、折笠委員、小泉委員）で調整する。）
司会：永田委員 開会挨拶：上原会長 閉会挨拶：芝副会長 手伝い：講師以外全委員

- ・ テキスト以外の配布資料については、講師が作成したものを事務局でまとめる。
- ・ 資料が多く、ホール式では本を開くのが大変なので、定員を半分の 2 0 0 名とする。
2 席を使用できるようにする。
- ・ 資料が多く厚いので、賛助会へ手提げ袋等（資料が入る大きさのもの）を用意できないか打診する。
また、提供してくれる会社については、P R チラシ等をいれてもらう。
- ・ 講師の打合せ会：平成 2 1 年 1 2 月 1 7 日（木） 16:00～17:30 神事協会議室にて行なう。

(3) 省エネ法の改正講習会開催について（3 月実施予定）

- ・ (財)建築環境・省エネルギー機構 担当：石田氏へ講師派遣等についての打診を行なった所、企画書の
提出が必要であるとの事で、下記企画書(案)を作成し石田氏へメールにて提出することとした。
また、建築と住宅とでは部署が異なるため、調整が必要であるとの話もあったので、調整も石田氏へ
お願いすることとした。

<企画案>

主 旨：平成 2 2 年 4 月 1 日から改正省エネ法が施行され、(社)神奈川県建築士事務所協会会員の実務
に直結することから、改正省エネ法への理解を深め、的確な対応が出来るようにするため。

希望内容：①住宅及び非住宅建築物についての両内容
②制度説明（評価項目についても含む）
③評価方法について（「PAL/CEC（性能基準）、ポイント法（仕様基準）」とではどの程度違
うのか）

- ④実務に関する内容（申請方法、記入方法、計算例）
- ⑤CASBEE との違い、整合性について
- ⑥建物種別・面積帯と用途分別判断基準に関して、独自の判断基準の目安表を提示して下さい。
- ⑦評価算定ソフトの紹介
- ⑧注意点

実施時期：平成22年2月下旬～3月中旬（施行日前に） 1日講習

講師：(財)建築環境・省エネルギー機構より紹介

定員規模：100名～300名（会場による）

開催会場：横浜 関内近辺ホール等

講習時間：10：00～16：30（会場及び内容による）

（4）大成建設技術センター見学会（22年3月上旬ごろの開催を打診中）

- ・開催日が決定次第案内を作成し、会員へ周知する（会報、ホームページ等）。

（5）CPDについて（登録方法の周知等について等） → 現在折笠委員が作業中である旨を報告。

（6）告示15号に基づく業務報酬基準について（担当：藤川副委員長、荻田委員、永田委員）

- ・凡例（用途別に）を作成。
前回神事協で作成したものを修正し、タタキ台を作成してもらうこととした。
（前回とどの程度数値が違うのかも含めて検証する。係数等も含む）
また、増築、改築についても含めた冊子としたい。

（7）委員会への提案事項について（前回に引続き ※各委員よりの提案書について）

①建築見学マップの作成について（担当：小島委員）

- ・会報に紹介された作品を取りまとめる作業をしている。
- ・支部に依頼して提案をもらっても良い。
- ・皆が気軽に行けるような地域密着型の建築マップとしたい。
- ・まずは骨組みとなる案を作成する。

（8）法定外研修の内容等について → 未だ(社)日事連の考えが示されていない。

（9）新規開設建築士事務所講習会開催について（新入会員セミナー含む）

- ・新入会員セミナーのテキスト案をタタキ台資料として配布。
組織図の上に(社)日事連を入れる。また、各委員会が担当している内容について記載する。
法定団体の条文（役割等）を記載する。会員の関わり方等も記載しては？
- ・活動について、下記を追加する。
スポーツ大会の実施、市民向けキャンペーンの実施、建築士事務所の登録業務、各種同好会活動、
支部活動の実施、CPD 協議会への参加、健康保険（建設業国保）、賠償責任保険
- ・CPDの登録に関する案内を入れる。
- ・決算総会資料（決算書）を添付

（10）その他

- ・委員会開催日程について

1月27日（木）10:00～11:30 横浜市開港記念会館 講堂控え室にて

2月12日（金）、3月5日（金） いずれも 15:00～17:00 神事協会議室にて

21～22 年度 第 7 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録				
開催日時	平成 2 2 年 1 月 2 7 日 (水)	会 場	横浜市開港記念会館講堂 講師控室	
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸			
1. あいさつ 芝副会長より				
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 1/27 設計・工事監理契約書関係の講習会の運営確認 ・ 次年度予算及び事業について（修正等の報告） ・ 大成建設技術センター見学会についての報告(3/4：締切、3/9：15 人) ・ 4/24 に神事協地引綱大会を開催するので、参加をお願いした。 ・ 各種講習会の案内配布 ・ その他				
3. 議 題				
(1) インターンシップについて				
①協力事務所調査アンケート結果報告（協力可：6 事務所）				
・ 名簿（一次結果）を建築士会宛に送付した旨を報告。 今後の対応としては、各団体からの調査結果をもとに全体会議を実施予定。その後に協力可能事務所を集めて説明会を実施し、協力事務所名簿（最終）を作成する。				
②「大学院インターンシップの実施状況に関するアンケート」についての報告 （産学連携建築教育連絡会議より）				
・ 参考までに配布した。				
(2) 新規開設建築士事務所講習会開催及び運営について				
日時：平成 2 2 年 3 月 2 日（火） 13:10～16:50 集合：13:00 会場：神事協会議室				
・ 司会：磯部 開会挨拶：芝副会長 閉会挨拶：棕委員長 とした。 ・ 今回は、新入会員セミナーの実施は、行なわないこととした。				
(3) 「改正省エネ法についての講習会」開催及び運営について				
日時：平成 2 2 年 3 月 1 6 日（火） 9:30～17:30 集合：9:00 会場：横浜情報文化センター 6 階 情文ホール 定員：2 3 0 名				
・ 司会：小島委員 開会挨拶：上原会長 閉会挨拶：芝副会長 手伝い：委員全員 とした。 ・ 1/26 講師との打合せについて、棕委員長より報告された。 テキストの内容が濃いので、1 日講習でもキツイボリュームであるので、講師の方々に簡略化できる所はお願いした。 ①建築物の省エネルギー基準等の説明 3 時間、②建築の省エネルギー基準等の説明 2 時間とした。 また、今後も勉強会等を実施する必要があると思われる。（7 月頃か？）				
(4) C P D について（登録方法の周知等について等）				
・ アンケート案を折笠委員が作成中。 ・ 各講習会で建築 C P D 情報提供制度への参加方法等の周知文をチラシとして配布し、普及に努める。				

(5) 告示15号に基づく業務報酬基準について

- ・民間団体へ新業務報酬基準の周知等要望の実施について
- ・(社)日事連が行った周知依頼文を参考に提出し、当協会用に専務が多少修正したもので行うこととし、告示15号の法律文冊子1冊及び一般向けのパンフレット30部を送付する。

また、要望依頼先(案)としては、以上の6団体とした。

- ①(社)神奈川県建設業協会
- ②神奈川県商工会議所連合会
- ③(社)神奈川県宅地建物取引業協会
- ④(社)全日本不動産協会 神奈川県本部
- ⑤神奈川県木造住宅協会
- ⑥(社)日本住宅産業協会 神奈川支部

また、要望先についての意見としては、建設組合、経団連、工業会等があがったが、具体的な提案があれば、事務局磯部まで連絡をするように依頼した。

(ブロック支部委員会へも要望先について聞くこととした。)

(6) 委員会への提案事項について

- ・前回神事協で作成した標準業務人・日数表を参考に配布。
- ・今回作成するものは、人工の金額も入れてみてはどうか？(神奈川県の設計労務単価の最低金額)
- ・仕事の内容を明確に記載する。(参考資料を多くする)

(7) その他

- ・特になし

次回、平成22年2月12日(金) 15:00～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 8 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 2 月 1 2 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○椋委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・×折笠・○小島・○服部・×小泉・×荻田・○永田・×瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 大成建設技術センター見学会についての報告(3/4 : 19 人、3/9 : 締切) ・ 新規開設建築士事務所講習会開催及び運営確認 (11 人) ・ 各種講習会案内を配布			
3. 議 題			
(1) インターンシップについて (2/9 会議報告)			
説明会：平成 2 2 年 3 月 1 日 (月) 15:00～17:00 神奈川県建設会館 会議室 説明者：士会担当 ・説明会終了後に最終の受入についての可否を問う。(5～6 月にリストアップしたい) ・案内については、各団体で送付して出欠をとる。 以上、会議の報告とした。			
<意見として> ・インターンシップについての協議会等を設置し、窓口を一本化することが必要。また、トラブルがあった場合の相談窓口としても必要。(責任も生じてくるため。)			
(2) 「改正省エネ法についての講習会」開催及び運営について			
日時：平成 2 2 年 3 月 1 6 日 (火) 9:30～17:30 集合：9:00 会場：横浜情報文化センター 6 階 情文ホール 定員：2 2 0 名			
司会：小島委員、開会挨拶：上原会長、閉会挨拶：芝副会長、手伝い：委員全員			
・2/5 県建築指導課 齋藤氏と講習内容について打合せをし、「神奈川県における制度の説明等について」の内容としては、国の基準とほとんど変わらないため、注意点等を重点的に講義して頂くようお願いした。以上を報告した。			
(3) C P D について (登録方法の周知等について等) → 現在作業中であるため次回へ			
(4) 告示 1 5 号に基づく業務報酬基準について			
・神奈川版のフォーマットを作成のこととし、近日中に部会を開催予定。			
(5) (仮称) 建築探訪マップ作成について			
・小島委員より 3 種類(A4 版、B5 版、A6 版)の案について資料提出があった。(三崎、山北、藤野) ・持ち運び等も便利なため、B 5 版で統一する。構成としては、表紙、地図、写真とした。 何時間程度で歩けるのか、見学可能か、不可能か等の情報も入れる。 ・見本を理事会に提出し、各支部で最低 1 箇所は作成してもらうよう依頼する。			
(6) その他			
①芝副会長より、エコポイントについての講習会実施について、安全協会より実施して欲しい旨の依頼があった。(担当：安全協会 住宅部長 鈴木 富男 氏) → 3 月 2 5 日の予算総会時の研修として採用したい。時間については、45～60 分で調整する。また、講師については、安全協会を担当する。			
②次回 平成 2 2 年 3 月 5 日 (金) に有楽町朝日ホールにて建築研究所講演会が実施され、隈研吾氏が特別講演を行うので、有楽町周辺の会議室を借りて委員会 (13:00～15:00) を実施し、その後講演会 (15:00～17:00) へ出席することとしたため、会場が予約出来次第案内を送付する。			

21～22 年度 第 9 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録				
開催日時	平成 2 2 年 3 月 5 日 (金)	会 場	TKP 東京駅丸の内会議室 ミーティングルーム A	
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・×野路副委員長・×藤川副委員長 (委 員) ×臼井・○折笠・○小島・○服部・×小泉・×荻田・○永田・○瀬戸			
1. あいさつ 芝副会長より				
2. 各種報告				
・ 前回議事録の確認				
・ 「改正省エネ法についての講習会」開催及び運営確認 集合：9:00 横浜情報文化センター 6 階 情文ホール				
・ 新規開設建築士事務所講習会開催報告（申込 21 人） 次回 9 月開催予定				
・ （仮称）建築探訪マップ作成について理事会及び支部長に依頼した。				
・ その他				
3. 議 題				
(1) インターンシップについて（3/1 説明会の報告）				
・ 7 事務所中 6 事務所が説明会へ出席した。				
・ 若手の育成も大事であるため、業界側の受け入れ体制が必要である。				
・ インターンシップはアルバイトと違い、教育の一環である。				
・ インターンシップの実施にあたっての流れ				
① 士会連合会が建築士会を通じ、予め募集の上登録しているインターンシップ実施に協力する建築事務所、事務所登録のある建築施工会社等（以下、「受入先」という）を大学に提示。				
② 大学は、インターンシップを希望する大学院生（以下、「研修学生」という）に対し、インターンシップの実施方法、注意事項等をガイダンスの上、「指導教員」を決定する。				
③ 「指導教員」と「研修学生」は、希望する「受入先」を選定し、双方合意すれば、大学と「受入先」が実施に係る「協定書」を締結する。				
④ 「研修学生」は、「受入先」において、その「指導担当者」から、別に定める「プログラム」の中から予め定めた研修を履修し、その結果を定期的に「指導教員」に報告する。				
⑤ 「指導教員」は、「研修学生」の報告及び「指導担当者」の評価を踏まえ、所定の単位を付与する。				
・ 実施時期及び期間について				
インターンシップは、原則として、一定期間継続実施するものとする。2 週間／実働 60 時間を最小期間とし（6 時間×5 日×2Week）、双方の協議により更に延長できるものとする。				
・ 著作権などの問題については、誓約書等を取り交わす必要がある。（情報漏えい等の防止）				
・ 東海地域における建築系インターンシップ実施状況の報告				
13 大学と建築 8 団体で構成。				
200 人の大学院生が入学し、インターンシップ履修は 110 名弱であった。				
・ 今後の課題				
学生にかかる保険の問題				
大学側の費用負担の問題（国立大では費用負担が難しいとの話もある）				
大学側との温度差をどう埋めるか。				
・ 今後の対応については、建築士会が登録申請書（案）を作成し、各団体に送付し意見を聞く。				
＜説明会時の質問＞				
・ 様式は用意されているが、大学側で用意している場合はどうすれば良いのか？				
→ 士会連合作成の様式は参考としてください。また、地域で独自に作成しても良い。大学側と調整する必要がある。				
・ 神奈川方式で行うと聞いたが、どの程度決まっているのか？				
→ 決まっていない。まずはリストの作成を目指している。今後も作成するか不明。 建築の関係団体で構成しているのが他県との違い。				
・ 単位について年間 4 単位とあるが、2 年分を同事務所で良いのか？				
→ 同事務所でも良いし、違う事務所でも良い。				
・ カリキュラムの期間は？				
→ 夏休みを利用するのが多い。1 ヶ月間履修すれば 4 単位取れる。1 年で 2 単位づつでも可だと思われるが、大学側の判断による。				
・ 時期的にさし迫っているが、大学側はあせっていないのか？				
→ 大学側は考えていない。大学院は研究施設であるとの考えも持っている。				

- ・神奈川県内の履修予定者の把握データは？
→ 把握していない。
 - ・基本様式等がある程度決めて実施した方が良いのでは？また、個別にやるのは難しいので窓口を作っては？
→ ガイドライン（士会連合作成）でタタキ台を作成している。今後は大学側との調整が必要であると考えている。
 - ・今後のスケジュールは？
→ 近々に登録事務所のリストアップをしたい。
 - ・業務の内容について、認められるか否か。
→ 議論されていない。将来的には決めたい。
 - ・協定書の中に「労働力を提供するものではなく」とは？
→ 例えば、コンペの締切等で残業して欲しい場合、拒否しても良い。（学生側の逃げ道である）
 - ・実施期間の記載で、一定期間とは？（運用方法について）
→ 大学側と協議する必要があるが、2週間等に区切って行うのでは？
また、大学のカリキュラムにのっとったものであれば裁量がある（週2～3日でも良い）
- 以上を報告した。

（２）「神奈川県受動喫煙防止条例及び住宅のエコポイント」説明会 開催運営について

日時：平成22年 3月25日（木） 13:15～15:20 集合：13:00
会場：横浜市技能文化会館2階 多目的ホール 定員：200名

司会：服部委員、開会挨拶：上原会長（芝副会長） 手伝い：委員全員 ※閉会は司会で行う。

- ・会員と非会員で受付を分けて行う。
- ・資料については、各講師より提供頂く。

（３）CPDについて（登録方法の周知等について等） → 現在作業中であるため次回へ

- ・CPD登録した事務所のメリットを発信していく必要がある。
- ・事務所協会のCPDを確立してPRする。
本当の実績：個人としての評価、事務所としての評価 → 民間へPR
イメージ：
設計事務所（所属3人） → 講習会へ参加（3人） → 普及センターで閲覧（事務所で、個人で）
(CPD 付与)
- ・重要事項説明、工事監理報告書等にCPDについての情報を記載しては？

（４）告示15号に基づく業務報酬基準について

- ・東京会で冊子を作成したようなので参考に入手する。
- ・開発関係についても検討する。
以前は、方法等を聞いて（資料を収集して）精査した。
- ・近日中に担当者で打合せを行う。

（５）（仮称）建築探訪マップ作成について

- ・地図は著作権の問題があるため、〇〇資料を参考にした等の出典どこを明記する。
- ・資料が集まり次第ホームページへ掲載していく。

（６）その他

- ・今後の開催予定 原則第1金曜日 15:00～ 神事協会議室にて
4/2、5/14、6/4、7/2、8/6、9/3、10/8、11/5、12/3

21～22 年度 第 10 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 22 年 4 月 2 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○椋委員長・×野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より 2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ インターンシップについて（経過報告） （仮称）神奈川県インターンシップ協議会（事務局：建築士会）より登録申込書を協力事務所へ送付予定。 ・ その他 地引網のお誘い、神奈川県作成省エネ法パンフの配布 「自立循環型住宅設計講習会」の案内配布 3. 議 題 （1）平成 22 年度事業計画について（目標設定） 1)平成 21 年度の各委員からの企画提案をまとめた資料を参考に配布し、内容の確認を行った。 ①見学会関係 ②会員相互の親睦、情操教育、癒しの目的関係 ③会員の特権、資質の向上研修会 ・ 各工程段階毎のデザイナーのための実務研修 賛助会、兼業事務所等に協力を頂き、セミナー形式で実施可では？（検討する） ・ いまさら聞けない、建築の疑問などの勉強会 完了検査を受けてない建築物（住宅）は建築完了ではなく、工事中。 また、完了検査を受けないと、工事監理者の立場は？など ④その他 ・ 家相、風水の話 → 講習会で実施可 ・ 色の話、色彩ガイドライン → セミナー形式で実施可 ・ 光、照明の話 → セミナー形式で実施可 ・ テレビ、ラジオ局、新聞社等のメディアとの対談 → 難しい ・ 他団体との意見交換、交流会 → 行うべきである。 ・ 話し方、話術（営業テクニック）等を含むマナー講習会 （クレームの 70%が口の聞き方である） 従業員の研修にも利用できるの、実施を検討。 講師については、商工会議所からの派遣が可能（椋委員長より） ⑤事務局を時々展示場として活用 → 活性化につながる。 ・ わがまち「新・再発見」展—もっと見つけだそう、もっと知らせよう— オリジナル写真／お気に入りの○○、まちのポスター／観光協会、国・県・市・町重要文化財建築、登録有形文化財建築、昔の絵葉書・写真・版画・印刷物／まちの変わり様、まちづくり活動グループ、ユニークで興味深い人、その他／建築、大切なもの、いつまでも残したいもの → 会員が行って見たいと思うような魅力的な情報提供 まちの資産（宝物）が失われる前に収集・整理、古建築や旧家所有者との新しい出会い 登録有形文化財登録への案内、支援、古建築保存・再生・活用への支援／地元設計事務所＋業者でまちづくり活動グループへの支援 市民祭・協会キャンペーンでの貴重な情報提供 ・ なるほど「手仕事」展—すごい、びっくり— 本人、家族、友人、知人、職人、アーティスト、その他（×大きな音） →時間をかけて、丁寧に、じっくり作り上げる人との出会い			

建築設計への新鮮な刺激、新しい人への広がり、つながり、わが町で頑張っている人への支援

- ・作品等の集め方（会員を動かす方法を考える）
- ・趣味の展示等でも良いのでは？ 取りあえず一回行ってみる。

2)重要事項説明の中に賠償責任保険加入の有無を入れる書式案を椋委員長が作成する。

※ 次回開催までに意見を募集する。(メールにて回答をお願いした。)

(2) 講習会等の企画について

- ・基準法改正（6月）の内容について
- ・省エネ法関係 夏までには実施したい。(300～2,000 m²をターゲットにする)
また、木造と非木造に分けて行う。
- ・開発の手引きの改定については、県建築指導課に問い合わせる。

(3) C P Dについて（登録方法の周知等について等）

- ・折笠委員よりアンケート（案）の提出があった。
内容を修正し、事務局 磯部へ送付し、会報4月号に同封する。また、支部の総会があるので、支部長へ送付し、協力を頂く。支部長へは、椋委員長が連絡すると共に依頼文を作成する。
修正事項としては、企画業務委員会を削除、フォントを大きくする、返信先FAX番号等を記載、支部名記載欄を追加、賠償責任保険の加入有無の回答欄を追加。
- ・C P Dについての説明会を各支部等で行う場合は、この委員会より講師を派遣する。
ブロック支部委員会へ開催を打診する。

(4) 告示15号に基づく業務報酬基準について

- ・部会開催報告として、東京会作成の冊子を参考にして検討していく。スケジュールとしては、9月を目処に完成させる。
- ・調査鑑定についての現地調査費用は、30,000 円（3 時間以内）としている。 ← 参考
- ・次回、5/14 12:00～（弁当を用意する）

(5) (仮称) 建築探訪マップ作成について

- ・葉山、山北、三崎、藤野についてのデータをホームページへ掲載する。

(6) その他

- ・(仮称) まちづくり特別委員会の設立について（設立準備）
(社)日事連のまちづくり特別委員会委員へ神奈川会より平山理事（横浜支部）を派遣している。
委員会の開催頻度は、3ヶ月に1回程度である。
その平山理事より委員会の設置をして欲しい旨の要望があり、本日の議題となった。
埼玉会でも委員会を設置したようだが、具体的な活動はしていないようだ。
この委員会では、規程の作成、人選などを検討し、平成23年度の設立を目指すこととし、次回5/14の14:00～15:00に平山委員を呼んで考えを聞くこととした。
当委員会としては、会員が参加出来る「まちづくり」を検討して欲しい旨を要望する。

次回 平成22年 5月14日（金） 14:00～ 神事協会議室にて （業務報酬部会：12:00～14:00）

21～22 年度 第 1 1 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 5 月 1 4 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○椋委員長・×野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・×服部・×小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 「街並み散策ぶらりマップ in 神奈川」としてホームページへ掲載 (三崎、山北、藤野) ・ 各種講習会案内等を配布			
3. 議 題			
(1) 2 2 年度事業計画について (目標設定)			
①見学会関係 → 開催する。(予算 2 回分)			
②会員相互の親睦、情操教育、癒しの目的関係 → 全てに含まれる内容			
③会員の特権、資質の向上研修会			
・ 「いまさら聞けない」シリーズ (セミナー形式) 標準仕様書 (木造編) の講習会 (住木センター発行の標準図あり) 仕様書、標準図、設備 (給排水、電気、空調、機械) (設備については行政によっては違う所もあるので、その情報も含む)			
④その他			
・ 家相についての話 → キャンペーン等で一般向けに開催しては？ ・ 色の話 → ビジュアルを交えての講習が良い。 担当：芝副会長 ・ 光、照明の話 → 東芝、パナソニック等の業者に企画させて開催しては？ 担当：折笠委員 ・ 他団体との意見交換、交流会 → 設備協会等が考えられるが、今後検討する。 ・ 話し方、話術 (営業テクニック) 等を含むマナー講習会 担当：椋委員長 ・ 消防法の講習会の実施検討 本庁 (消防本部) へ相談する。(講習時間とスケジュールなど) ・ 建物の安全、安心について (設計者向け) 県警 (警察安全課) へ相談する。(1～1.5 h)			
⑤事務局を時々展示場として活用			
・ 本物を見るのが大事 (木版画、絵本等) なので、協力できるものもある。 ・ ピクチャーレールの取付、展示パネルの購入を総財務委員会へ要望する。			
⑥重要事項説明の中に賠償責任保険加入の有無を入れる書式案を椋委員長が作成する。			
・ 現状の苦情相談にセカンドオピニオン機能 (事務所協会が実施。名称は考える) を追加。 会員が使えるもの。(協会会員が行った設計等において、セカンドオピニオンが利用出来る) ・ C P D についても追加する。			
事務所協会のメリット (会員のバックアップ体制) に繋がるので項目を追加する。			
(2) 講習会等の企画について			
①基準法改正 (6 月) の内容について → 国交省が無料で実施しているため開催しない。			
②省エネ法関係 夏までには実施したい。(300～2,000 m ² をターゲットにする) また、木造と非木造に分けて行う。			
→ 簡易ポイント法について 9 月ごろに開催する。講師：折笠委員			

③開発の手引きの改定については、県建築指導課に問い合わせる。

→ 23年3月位に改訂予定。それに合わせて実施する。

④マナー講習会の開催について

・10/21 賛助会フェア（横浜市技能文化会館） タイアップで開催出来ないか？

→ 企画、技術（地盤）、設監（契約書関係）、木造 で、各委員会1時間のセミナーを実施する。
内容については、各委員会へお任せする。

→ 実施については、賛助会と打ち合わせを行う。

（3）CPDについて（登録方法の周知等について等）

・現在アンケートを実施中。各支部へ支部会員分を送付し、支部総会時にアンケートの実施を行うようお願いしている。→ 現在105社より回答あり。

→ 来月までにまとめる。

（4）告示15号に基づく業務報酬基準について（部会報告）

・原案を作成し、修正していく。

・改正省エネ法による手間が不明。今後はデータを収集する。

・疑問点をだして、各委員等で解決していく。

（5）その他

①マンションの大規模修繕対応事務所の名簿作成（ブロック支部委員会からの検討依頼）について

→ 早急に開催していくことを検討する。まち協、マン管センター等へ打診。

②委員会の配布資料を事前にメール等で送付し、印刷して持参すること(増田理事からの提案)について

→ 企画業務委員会では難しい。

次回 平成22年 6月 4日（金） 13:00～ 業務報酬部会
15:00～ 企画業務委員会 いずれも神事協会議室にて

21～22 年度 第 12 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 22 年 6 月 4 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		

1. あいさつ 棕委員長より

2. 各種報告

- ・ 前回議事録の確認
- ・ 「街並み散策ぶらりマップ in 神奈川」としてホームページへ掲載（葉山）
- ・ 各委員会への要望について及び回答

①10/21 賛助会フェア時のセミナー実施について

→ 技術調査委員会、設計監理指導委員会、木造特別委員会へ依頼中

②ピクチャーレールの取付、展示パネルの購入について

→ 総財務委員会へ依頼し、具体的な企画の提出依頼の回答あり。

→ 具体的な企画については、設備が容易されないと出来ない。

＜企画例＞

- ・ わがまち「**新・再発見**」展—もっと見つけたそう、もっと知らせよう—
オリジナル写真／お気に入りの○○、まちのポスター／観光協会、国・県・市・町重要文化財建築、登録有形文化財建築、昔の絵葉書・写真・版画・印刷物／まちの変わり様、まちづくり活動グループ、ユニークで興味深い人、その他／建築、大切なもの、いつまでも残したいものの展示等
- ・ まちの資産（宝物）が失われる前に収集・整理、古建築や旧家所有者との新しい出会い、登録有形文化財登録への案内、支援、古建築保存・再生・活用への支援／地元設計事務所＋業者でまちづくり活動グループ活動の発表の場
- ・ なるほど「**手仕事**」展—すごい、びっくり—
本人、家族、友人、知人、職人、アーティスト、その他（大きな音は×）
- ・ 会員建築作品展、文化展（趣味の展示等）

目的及び効果としては、会員が行って見たいと思うような魅力的な情報提供、建築設計への新鮮な刺激、新しい人への広がり、つながり、会員の活性化、市民等へのPR、知識の向上。

開催方法：1 回当たり 1 週間程度。

- ・ 展示パネルについては、今後検討する。
- ・ 収納については、会長室（未使用時）、壁面へ立てかける等

・ その他 基準法改正のパンフレット、他団体講習会案内を配布。

3. 議 題

(1) 見学会の企画について

①ぶらりシリーズ 鎌倉（裏路地等）で開催（企画担当：服部）

(2) 講習会等の企画について

①「いまさら聞けない」シリーズ（セミナー形式）

- ・ 標準仕様書（木造編）の講習会（住木センター発行の標準図あり）
→ 木造特別委員会で作成してもらう。データを棕委員長より木造特別委員長へ送付する。
- ・ 仕様書、標準図、設備（給排水、電気、空調、機械）の講習会実施について
→ 設備協会へ開催出来るか問い合わせる。

②省エネ法関係研修会実施について（300～2,000 m²をターゲットにする）
また、木造と非木造に分けて行う。

→ 非木造について9月に開催する（時間：3時間 例題含む）
講習案内を作成する。

③マンションの大規模修繕に関する講習実施について

- ・(社)かながわ住まい・まちづくり協会へ講師派遣について打診し、了解を得た。
- ・講習の開催方法については、総論を行い、具体的な事例研修等の詳細については、何回かに分けて実施する。
- ・登録者制度のシステム（規定等の作成）づくり。登録申請書については、野路副委員長の資料を参考とする。
- ・開催案内を作成し、委員全員へ送付し確認をお願いする。また、会報7月号に同封し、周知する。

④10/21 賛助会フェア（横浜市技能文化会館）でのセミナー内容について

- ・テーマを決定して開催する可能性も出てきた。また、一般市民が入れるようなもの（市民がわかる内容）で実施する可能性もある。（賛助会長との打合せ報告）
- ・企画として、広報情報委員の稲葉勉氏より「いまよみがえる聖地のネットワーク」と題し、風水をテーマとした話が出来るようだ。 → 今後検討する。

（3）CPDについて（登録方法の周知等について等）

- ・アンケート結果報告：128事務所より回答があった。
他の委員会へもアンケート結果をお知らせする。
- ・CPDについては、PR不足があるので分かり易いパンフを作成する。（担当：折笠委員）

（4）告示15号に基づく業務報酬基準について（部会報告）

- ・タタキ台をデータ化し、具体的に検討している。

（5）その他

①(財)建築技術教育普及センターの助成事業について

- ・平成22年度第1回普及事業助成については、当協会として申請する。
キャンペーン、講習会、見学会等
会報誌のシリーズものをまとめて冊子にしては？との意見もあった。

21～22 年度 第 13 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 7 月 2 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ×白井・○折笠・×小島・○服部・○小泉・×荻田・○永田・○瀬戸		

1. ①マンションの大規模修繕に関する情報提供（根岸総財務委員長より）

- ・横浜市マンション管理組合サポートセンター（毎月 1 回相談会実施）
- ・マンション管理センターについて
- ・他団体でも色々なセミナーを実施しているので、今回名簿登録された事務所へは講習会案内等の情報提供をしていく。

②（仮称）まちづくり特別委員会の設立等について（平山ブロック支部副委員長より）

- ・(社)日事連の会議資料（景観・まちづくり特別委員会）を配布。(社)日事連でも何をして良いかわからない状態である。
- ・全国の単位会で、景観整備機構に指定されているのは、埼玉会と大阪会の 2 単位会である。県より機構の指定を受ける事を目的とし、その次に市町村で指定を受けたい。機構の指定を受けると動きやすいし、便利である。（内容は、建物、自然、研究等がある。）
- ・(社)日事連がアンケートを実施予定（目的は、技術者の発掘等である。）
神事協としてもメンバーの把握が必要。担い手の支援も。
- ・毎月、企画業務委員会へ平山ブロック支部副委員長が出席し、情報提供する。
- ・平成 2 3 年度より委員会を立上げられるように規程等を今年中にまとめる。

2. あいさつ 芝副会長より

3. 各種報告

- ・前回議事録の確認
- ・総財務委員会への要望について及び回答について
前回検討頂いた回答を総財務委員会へ提出した。総財務委員会では、ピクチャーレールの取付について決定した旨の報告があった。
- ・インターンシップについて（7/1 会議報告）
県内における大学院数は、1 0 大学 1 1 学部である。
受入先としては、2 4 社となった。（当協会より 7 事務所）
- ・建築基準法の見直しに関する検討会について（情報提供）
- ・スポーツ大会（ボウリング大会）：9 月 1 6 日（土） 江の島ボウルにて
- ・建築士事務所キャンペーン：1 1 月 1 3 日（土）～1 4 日（日） ダイナシティ小田原
- ・その他 他団体の各種講習会案内等を配布。

4. 議 題

（1）見学会の企画について（鎌倉見学企画の現況報告）

- ・スケジュールは、2 月ごろ開催を予定。基本は、土曜日とした。
- ・午後から始めて終了後に懇親会を開催する。

（2）講習会等の企画について

①「いまさら聞けない」シリーズ（セミナー形式）

- ・標準仕様書（木造編）の講習会（住木センター発行の標準図あり）
→ 木造特別委員会へ講習会の開催要望書を提出することとした。
- ・仕様書、標準図、設備（給排水、電気、空調、機械）
→ 問合せをする。

②省エネ法関係研修会実施について（300～2,000 m²（非木造）をターゲットにする）

- ・RC 造と S 造の 2 物件を説明する。（配布資料案が折笠委員より提出された。）
- ・9 月開催の日程及び会場を確保する。

- ・一般も対象とする。料金は、資料代込みで、会員 2,500 円、一般 6,500 円とする。
- ・届出の書類作成に係る人工（1 人工 30,000 円とした場合）
 共同住宅の場合 300～750 m² 4～5 人工（12～15 万程度）
 750～1,500 m² 5～6 人工（15～18 万程度）
 1,500～2,000 m² 6～7 人工（18～21 万程度） が想定される。
 ※品確法の 2 等級を目標とした場合であり、条件内容によって異なる。
 設備士は、26,500 円/人程度か？

③マンションの大規模修繕に関する講習実施について

日時：平成 22 年 8 月 31 日（火） 13:30～16:45 集合：13:00

会場：横浜市技能文化会館 2 階 多目的ホール 定員：150 名

司会：野路副委員長、開会挨拶：上原会長（棕副委員長）、閉会挨拶：芝副会長、手伝い：委員全員

- ・名称「マンション等の大規模修繕業務対応事務所養成研修会」とした。
- ・申込書のテキスト欄に要・不要を記載する。
- ・マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所の要綱を作成した。
 また、講習会当日の閉会あいさつ前に登録申請についての説明を芝副会長が行う。
- ・登録事務所の名簿掲載項目は、事務所名、支部名、所在地、TEL、FAX、登録業務内容、建築士名、関連資格とした。

④10/21 賛助会フェア（横浜市技能文化会館）でのセミナー内容について

- ・賛助会で現在テーマ等を検討しているので、決定次第検討に入る。

⑤新規開設建築士事務所講習テキストの改訂及び講習開催について（残 80 冊）

- ・現在のものを使用する。9 月～10 月に開催を検討する。
 また、内容の改訂については 2 月の完成を目指す。（改訂担当：白井、瀬戸）

⑥神奈川県建築基準条例等の改正講習会実施について

- ・県へ問合せ中である。回答があり次第県と調整し、検討していく。

（3）CPD について（登録方法の周知等について等）

- ・(社)日事連資料「建築士会 CPD のオープン化に伴う課題について」を参考に配布。
- ・制度を分かり易く知らせるパンフを作成中である。

（4）告示 15 号に基づく業務報酬基準について（部会報告）

- ・ある程度まとまったので、案を委員全員にメールにて配布し、次回の委員会で意見を聞く。
- ・あいさつ文と経緯説明は、省略することとした。
- ・省エネ法および定期検査及び調査（設備系）等の一部は、次回改訂時に盛り込む。
- ・次回の委員会にて会員等への配布方法を検討する。

（5）その他

- ・LED 関係の資料が賛助会より届いたので、参考に回覧した。

次回、平成 22 年 8 月 6 日（金） 15:00～（まちづくりの報告がある場合 14:30～）神事協会議室にて

21～22 年度 第 14 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 8 月 6 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ×白井・○折笠・○小島・○服部・×小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 「マンション等の大規模修繕業務対応事務所養成研修会」の運営確認等 ・当日配布する登録要綱の修正及び申請書の修正。 ②ピクチャーレール取付け完了報告 → 企画をお願いした。 ③企画業務委員会の名簿配布 → 再修正があったため、後日メールにて送付する。 ④景観・まちづくり活動実施状況調査への協力を依頼した。 ⑤その他 各種講習会案内等を配布。			
3. 議 題			
(1) 見学会の企画について（鎌倉見学企画の現況報告） ・服部委員より実施計画案の提出があった。 ・開催日時：平成 2 3 年 2 月 2 6 日 (土) 12:45 鎌倉駅集合 定員：2 5 名先着順とする。 拝観料を調べて参加費として徴収する。			
(2) 講習会等の運営について ①「省エネ法に基づく届け出実務研修会」の運営について 日時：平成 2 2 年 9 月 2 7 日 (月) 13:00～16:45 集合：12:00 会場：日本丸訓練センター第 1、2 教室 定員：1 5 0 名 司会：白井委員、開会挨拶：上原会長（芝副会長）、閉会挨拶：芝副会長（棕委員長） 手伝い：委員全員 ・演習例題についても行う予定とした。 ・次第については、折笠委員と調整して作成することとした。 ②「神奈川県建築基準法取扱基準に関する講習会」の開催運営について 日時：平成 2 2 年 9 月 1 3 日 (月) 14:00～16:45 集合：13:00 会場：横浜市技能文化会館 多目的ホール 定員：1 5 0 名 司会：荻田委員、開会挨拶：上原会長（芝副会長）、閉会挨拶：芝副会長（棕委員長） 手伝い：委員全員 ③「新規開設建築士事務所講習会」開催について（1 0 月 6 日 (水)） 日時：平成 2 2 年 1 0 月 6 日 (水) 13:10～16:50 会場：(社)神奈川県建築士事務所協会 会議室 司会：事務局磯部、開会挨拶：芝副会長、閉会挨拶：棕委員長			
(3) 講習会等の企画について ①「いまさら聞けない」シリーズ（セミナー形式）設備（給排水、電気、空調、機械） ・設備協会の理事会が偶数月に開催されるため、企画書を送付して欲しい。対応は可能である。 → 機械は、削除する。給排水：2 回、空調：2 回、電気：2 回程度を想定。 次回までに内容を考えて、企画を提出する。(宿題：委員全員)			

- ・木造編については、木造特別委員会にて検討中。
- ・消防法についてのセミナーも企画する。(担当：野路副委員長)

②10/21 賛助会フェア（横浜市技能文化会館）でのセミナー内容等について

- ・名称を神事協フェアとし、各委員会の発表の場として活用したい。
主旨としては、会員でイベント等に参加していない人に参加して頂けるようなイベントとしたい。
- ・今回は「エコ」をテーマとした。
- ・セミナー時間については、40分（実質30分）程度。
- ・今後としては、神事協のPR（行っている活動等）を消費者に行っていきたい。
消費者向けに発信するもの、消費者が分かり易いもの
- ・中タイトル（キャッチコピー）をマスコミへPRするために募集するので、各委員がそれぞれ提案の提出をお願いした。（締切：8月20日）

（4）CPDについて（登録方法の周知等について等）

- ・現状、建築士定期講習は、建築CPD情報提供制度では認められていない。
→ 普及センターへ申請書を提出すれば認められる。（折笠委員より）
普及センターへ連絡し確認する。認められるのであれば申請書を提出することとした。
- ・CPDを国等が認めて、法定講習の免除が出来る等があれば普及するのでは？との意見があった。

（5）告示15号に基づく業務報酬基準について（部会報告）

- ・省エネ法に基づく業務、アスベスト調査関係、定期検査（設備系）等については、次の改定時に盛り込むこととした。
- ・戸建て住宅については、400㎡についても作成することとした。

（6）その他

- ・なし

次回、平成22年9月3日（金） 15:00～（まちづくりの報告がある場合 14:30～）神事協会議室にて

21～22 年度 第 15 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 9 月 3 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○椋委員長・×野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○臼井・○折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他 ・「住宅・建築関係事業者技術力向上支援講習会」で 10/18 県民ホールで 13:00 より「木造軸組みの構造講習会」があるので、希望者はオンラインで申込をお願いした。			
3. 議 題 (1) 鎌倉見学会について ・案内(案)を配布。 拝観料については、川喜多映画記念館(200 円又は特別 500 円)、吉屋信子記念館(2,000 円)、鎌倉文学館(300 円)、全てで 1,000 円程度であった。また、大谷記念美術館は休館中であった。 → 案内の主旨等については、服部委員が作成することとした。また、懇親会の会場については、検討することとした。			
(2) 講習会等の運営について ①「神奈川県建築基準法取扱基準に関する講習会」の開催運営についての確認 ・現在、1 3 5 名。お申し込みのない方は、申込をお願いした。 ・当日の次第及び手伝いについて確認。司会者へは、司会者用のものを作成し送付する。 ②「省エネ法に基づく届け出実務研修会」の運営についての確認 ・現在、5 0 名。時間割、内容については、後日折笠講師と打合せを行う。 ・当日の次第及び手伝いについて確認。司会者へは、司会者用のものを作成し送付する。 ③「新規開設建築士事務所講習会」開催についての確認 ・現在、2 6 名。 ・当日の次第及び手伝いについて確認。			
(3) 講習会等の企画について ①「いまさら聞けない」シリーズ(セミナー形式)設備(給排水、電気、空調) ・設備協会理事会(10 月)への企画書提出について 給排水: 2 回、空調: 2 回、電気: 2 回程度を想定 ・内容について、木造編と非木造編に分けて行う。 ・週 1 回の 2 時間(17:00～19:00)×2 回を 1 セットとする。 ・会場は、神事協会議室とし、3 0 名限定で行う。			
＜給排水衛生＞ ・管径の決定方法 ・基礎のスリーブの決定方法 ・埋設時の注意点 ・P S の取り方 ・配管ルートの決定方法			

- ・施工上の注意点（全般）
- ・増改築の場合の注意点
- ・リニューアル方法
- ・浄化槽について
- ・引込管について
- ・雨水利用について

<電気> 東京電力も講師可？

- ・容量（何アンペア必要か？）について（契約容量の決定方法）
- ・配線についての注意点
- ・引込方法について
- ・単相 200V、三相 200Vについて
- ・照明器具の選定について
- ・太陽光発電について
- ・床暖房について
- ・オール電化について
- ・コンセントについて
- ・マルチメディア（弱電）について

<空調と機械>

- ・システムの選び方について（電気、ガス）
- ・容量の設定について
- ・換気（経路）について
- ・ホームエレベーターについて
- ・段差解消機について

以上を設備協会へ打診する。

②10/21 神事協フェア（横浜市技能文化会館）でのセミナー内容等について

- ・中タイトル（キャッチコピー）の提案について
→ 「良い家をつくろう!!」に決定した。
- ・参加者へは、ポイントカードを押印する。会費は無料。
- ・スケジュールについて（セミナー参加は、無料）

11:00～12:00 「住・緑・家」PR
 13:00～14:00 省エネについて（企画業務：折笠委員）
 14:00～15:00 地盤について（技術調査）
 15:00～16:00 契約書関係について（設計監理指導）
 16:00～17:00 伝統木造について（木造特別）

（４）C P Dについて（登録方法の周知等について等）

- ・9/2 の行政懇談会にてプロポ等に活用して欲しいと要望した。
→ 県ではC P Dの利用は、現在のところ考えていない。
- ・神事協のインセンティブとして、入会すれば自動登録出来るとなれば普及にも繋がるのでは？
費用が発生するが・・・。
- ・会員が知らないなので、PR方法を考える。

(5) 告示15号に基づく業務報酬基準について（配布方法等について）

- ・戸建て住宅については、400 m²についての確認
→ 数値を修正する。
- ・配布については、会員のみに配布することとし、ホームページの会員のページよりダウンロード出来るようにする。

(6) 会議室ピクチャーレールを使用した企画

- ・「萱葺き屋根の家」及び「江戸時代の芝居パンフレット」の公開（小島委員提供）
公開期間：9月4日～10月8日とし、案内を会報9月号に同封し周知する。

(7) その他

①住宅等の履歴管理システム（国交省作成）について（棕委員長より）

- ・一括管理システムのようなものである。
- ・設計事務所が関与し、作成することが大事である。

②臼井委員が9月で退会してしまう旨の報告があった。

- ・9/27の講習会後に送別会を開催する。

次回 平成22年10月 8日（金） 15:00～（まちづくりの報告がある場合 14:30～）神事協会議室にて

21～22 年度 第 16 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 1 0 月 8 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・×藤川副委員長 (委 員) ○折笠・○小島・○服部・○小泉・×荻田・○永田・○瀬戸		

1. あいさつ 芝副会長より

2. 各種報告 ①前回議事録の確認
②10/21 神事協フェアについて
・仲間の方を是非誘って参加してください。また、懇親会も行うので参加ください。
・当委員会の展示物について
カラーで「ぶらり探索マップ」を各 2 0 部用意する。
セミナー資料を 5 0 部用意する。
小島委員の「萱葺き屋根の家」の写真を展示する。

③その他

3. 議 題

(1) 鎌倉見学会について → 検討中。

(2) 建築士事務所キャンペーンの手伝いについて (10:00～14:00 と 14:00～18:00)

日 時：平成 2 2 年 1 1 月 1 3 日 (土) ～ 1 4 日 (日) 10:00～20:00
会 場：ダイナシティ小田原 ロビンソン百貨店内
懇親会：1 3 日 18:30～ ロビンソン百貨店内にて 会費 5,000 円

11/13 (10:00～14:00)：棕、折笠、野路、(小泉)
11/13 (14:00～18:00)：棕、永田、(小泉)、(藤川) 懇親会：棕、永田、(藤川)
11/14 (10:00～14:00)：小島、服部
11/14 (14:00～18:00)：服部

本日欠席の方にも確認をとり、協力を依頼することとした。

(3) 講習会等の企画について

①「いまさら聞けない」シリーズ(セミナー形式)設備(給排水、電気、空調)

・設備設計事務所協会 小後摩会長への企画書提出し、協力依頼をした。
(給排水：2 回、空調：2 回、電気：2 回程度を想定)
→ 後日回答が届いたら打合せに行くこととした。また、内容については、全てこなせないと思われるが、今後検討していく。

②都市計画法に基づく「開発許可関係実務の手引」講習会の実施

・来年 3 月に改正がある予定なので、それに合わせて実施を予定する。

(4) C P D について(登録方法の周知等について等)

・周知パンフレット等については、検討中である。
・メリット(付加価値)が明確でない。
・申込書をダウンロードしないので、配布しては？
・新入会員を初年度のみ自動登録出来るようにしては？
→ 予算が取れるか？
・普及センターへ下記のものを要望してみる。
入会金 1,000 円の無料化。
登録時期によって管理料を下げる。(6 ヶ月毎等)

(5) 告示15号に基づく業務報酬基準について（配布方法等について）

- ・理事等からの指摘事項について
→ 全て修正する。また、積算の算出根拠を P.3 に追記する。
- ・最終ページの発行については、告示が新しくなったので、初版とする。

以上を修正後、委員へ送付し確認をお願いする。

(6) 会議室ピクチャーレールを使用した企画

①写真展（増田設計監理指導委員長より提供）

- ・提供者の支部名、事務所名、個人名を出すこととした。
- ・期間については、10/9～11/8 とした。

②県西支部より希望者あり

- ・諏訪部氏の水彩絵画 期間：11/9～12/8 とした。
- ・会報等に募集を掲載しては？

(7) マンション等の大規模修繕業務対応事務所名簿について

- ・注意事項中の ～お客様と設計事務所 → お客様と登録事務所 へ変更。
- ・1.2.の標記を逆にし、2.業務を依頼する場合は、契約書を取り交わしてください。へ修正。
- ・名簿の掲載は、地域別のアイウエオ順とする。
- ・建築士以外の関連資格欄は、宅建を削除する。

以上を修正し、ホームページへ掲載する。

また、各市町村の消費生活センター、マンション関係の窓口、まち協へ名簿を送付する。

(8) その他

- ・次回、「まちづくりに関する委員会の設置について」を議題とするので、14:00～とした。
（平山理事が出席）

次回 平成22年11月 5日（金）14:00～17:00 神事協会議室にて

21～22 年度 第 17 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 1 1 月 5 日 (金)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○椋委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○廣澤・○折笠・○小島・○服部・○小泉・×荻田・×永田・○瀬戸		
○ まちづくりに関する委員会の設置について（横浜支部 平山 正義氏出席）			
①神奈川県内の景観行政団体の景観計画策定についての資料 ②特別委員会の設置目的等についての資料 以上、2 点の資料提出が平山氏よりあった。			
・ 神事協として、景観整備機構の認定を目指す。（神奈川県内では、今の所ない。）			
・ 1 2 月の理事会に委員会設置の議案を提出するので、本日内容を決定したい。			
・ 名称は、景観・まちづくり特別委員会とし、特別委員会の規程（案）は、下記とした。			
○景観・まちづくり特別委員会規程（案）			
平成 2 2 年 1 2 月 日 制定			
（目的）			
第 1 条 この景観・まちづくり特別委員会（以下「本特別委員会」という。）は、神奈川県内の各種団体が行うまちづくりに関する業務の支援。(社)神奈川県建築士事務所協会の支部並びに会員が行うまちづくりに関する業務の支援。これに準ずる業務（以下「景観・まちづくり業務等」という。）についての調査、研究、会員の専門的知識の向上を図り、もって社会に寄与することを目的とする。			
（業務の処理）			
第 2 条 本特別委員会は、次の事項について担当する。 1. 神奈川県内の各種団体が行うまちづくりに関する業務の支援。 2. (社)神奈川県建築士事務所協会の支部並びに会員が行うまちづくりに関する業務の支援。 3. その他、景観・まちづくり業務等についての調査、研究等を行う。			
（特別委員会の構成）			
第 3 条 本特別委員会は、次の構成とする。 1. 本特別委員会の委員は、担当副会長が、会員（所員を含む）の中から推薦し、理事会の承認を経て、会長が委嘱する。 2. 本特別委員会には、委員長及び副委員長若干名を置くものとし、選出方法は本会細則第 1 8 条第 4 項第 2 号により選出する。 3. 委員長は本特別委員会を総括し、副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。			
（委員の任期）			
第 4 条 本会定款 1 5 条及び本会細則第 1 9 条の規定を準用するものとする。			
（特別委員会の召集）			
第 5 条 本特別委員会は、委員長が召集する。			
（規程の変更）			
第 6 条 この規程の変更は、理事会の議決を経なければならない。			
（その他）			
第 7 条 この規程の定めるもののほか、業務及び事業の運営に必要な事項は、本特別委員会が別に定めることができる。			
附則			

・委員会活動予定（予算）としては、

- ① 8名×6回
- ②勉強会開催 1回
- ③講習会開催 1回
- ④見学会開催 1回

1. あいさつ 省略

2. 各種報告 ①前回議事録の確認

- ②マンション等の大規模修繕業務対応事務所名簿掲載について
会員の中で名簿掲載の事務所へ営業されているので良いのか？との連絡があった。
→ 臨機応変に対応して頂きたい。

③キャンペーン手伝いについての確認及び追加

11/13（10:00～14:00）：棕、折笠、野路

11/13（14:00～18:00）：棕、永田、小泉、藤川 懇親会：棕、永田、小泉、藤川

11/14（10:00～14:00）：小島、服部

11/14（14:00～18:00）：服部

④その他 各種講習会等の案内を配布した。

3. 議題

（1）次年度予算案について

<収入>

- ①士法・建築基準法等改正講習会 1回 1,100,000円(会員2,000円×100名+一般6,000円×150名)
- ②新規開設建築士事務所講習会 3回 283,500円(3,150円×30名×3回)
- ③見学会・研修会 2回 240,000円(3,000円×40名×2回)
- ④いまさら聞けないシリーズ研修会 3回 270,000円(3,000円×30名×3回)
- ⑤マンション大規模修繕等指定研修会 2回 300,000円(3,000円×50名×2回)
- ⑥開発の手引き改正講習会 1回 1,100,000円(会員2,000円×100名+一般6,000円×150名)

<支出>

- ①士法・建築基準法等改正講習会 90,000円 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A
- ②新規開設建築士事務所講習会 82,500円(27,500円×3回) 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A
- ③見学会・研修会 220,000円(110,000円×2回) 定款：3,6 事業年数：先行 優先：A
- ④いまさら聞けないシリーズ研修会 270,000円(90,000円×3回) 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A
- ⑤マンション大規模修繕等指定研修会 280,000円(140,000円×2回) 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A
- ⑥開発の手引き改正講習会 90,000円 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A
- ⑦神奈川建築C P D協議会会費 75,000円 定款：6 事業年数：永年 優先：A
- ⑧C P Dプログラム認定費用 50,000円 定款：6 事業年数：永年 優先：A
- ⑨会議費
 - ・会議費（分科会含む）13名×20回
 - ・C P D協議会 4名×6回（規則第7条費用弁償地域割増し分）

（2）鎌倉見学会について（経過報告）

・次回にタタキ台を提出する。また、案内については、会報1月号に同封する。

（3）講習会等の企画について

- ①「いまさら聞けない」シリーズ（セミナー形式）設備（給排水、電気、空調）

- ・設備設計事務所協会 小後摩会長への企画書提出し、回答があった。
(給排水：2回、空調：2回、電気：2回程度を想定)

12月の回答を待って1月に打合せ(棕、野路)で行う予定とした。

②「開発許可関係実務の手引き」講習会

- ・11月1日と平成23年4月1日施行で34条の基準が変更になったため。
3月か4月に開催予定としたい。
→引き続き、県建築指導課と調整を行う。

(4) CPDについて(登録方法の周知等について等)

- ・現在、要望書の作成中である。

(5) 告示15号に基づく業務報酬基準について

- ・データをPDFにし、県の単価表を付けて会員のページに掲載し、周知する。

(6) 会議室ピクチャーレールを使用した企画

①県西支部 諏訪部建築事務所より水彩絵画を予定

- ・6～7枚程度を予定。期間は、11/16～12月末日までとした。

②今後の募集について

- ・公募した時の条件を明確に記載する。
持ち帰りの方法、郵送の場合の着払い等

(7) その他

- ・なし

次回 平成22年12月 2日(木) 15:00～17:00 神事協会議室にて 会議終了後に忘年会を実施。

21～22 年度 第 18 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 22 年 12 月 2 日 (木)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○廣澤・×折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認			
②予算案の確認 会議費の人数が間違っているので修正する。			
③その他 ・景観・まちづくり特別委員会についての経過報告 正副会長会、委員長会での意見で、部会で良いのでは？との意見が多くペンディングになっている。(芝副会長より報告) ＜意見＞ ・まちづくりに参加したい人は多い。部会では中途半端である。 ・理事会に諮り、白黒はっきりして欲しい。 ・まちづくりは、長期スパンで考えないと駄目である。 ・知識の共有、バックアップ、人材育成のためにも必要。レベルアップにつながる。 ・まちづくりの範囲を明確にした方が良い。 ・他の分野の人材を入れて行わないと駄目。また、「まちづくり」と大きくくりにすると難しい。			
3. 議 題			
(1) 鎌倉見学会について			
・服部委員より行程案等の提出があり、会報 1 月号に案内を同封し、周知することとした。			
・ヘッドセット付きのトランシーバーがあると便利なので、どの程度の費用か調べる。			
(2) 講習会等の企画について			
①「いまさら聞けない」シリーズ(セミナー形式)設備(給排水、電気、空調)			
・12月の設備事務所協会の理事会終了後に回答がある。 回答があり次第、棕委員長、野路副委員長とで打合せについて対応する。			
②「新規開設建築士事務所」講習会のテキスト改訂について(担当者等について)			
・§1 及び参考：神奈川県 ・§2-1～2-3：野路、廣澤 ・§2.4：永田、荻田 ・§3：棕、藤川、小泉 ・§4：設計監理指導委員会へ検討依頼書を提出し、お願いする。			
(3) CPDについて(登録方法の周知等について等) → 次回へ			
(4) 告示15号に基づく業務報酬基準について(追加項目等の検討)			
・東京会の情報を手に入れることとした。			
(5) 会議室ピクチャーレールを使用した企画			
①鎌倉支部 建築仕事展の展示作品 (期間：平成23年1月5日～2月4日まで)			

②今後の募集について

- ・展示スペースの長さの高さを募集案内に掲載する。
- ・展示についても申請者本人が行う旨の文言を入れる。
- ・応募者多数の場合は、先着順とします。また、展示時期については、おって連絡致します。

(6) その他

①今後の開催日程について

1月18日(火) 15:00～ 神事協会議室
2月26日(土) 10:00～ 鎌倉
3月11日(金) 15:00～ 神事協会議室

②今後の検討事項

- ・「開発許可関係実務の手引き」講習会 → 4月に開催予定

次回 平成23年 1月18日(火) 15:00～17:00 神事協会議室にて

21～22 年度 第 19 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 1 月 1 8 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○廣澤・○折笠・○小島・○服部・×小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他 ・神事協フェアの報告。2 3 年度も開催するので、協力をお願いした。 ・各種講習会等の案内配布。参加をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 事業計画・予算案の修正について ・1,000 万円の赤字であることが 1/13 の委員長会にて報告され、予算案の修正を行うこととなった。 ・収入の部に「開発の手引き」の販売を入れることとした。 250 冊×3,150 円=787,500 円			
(2) 鎌倉見学会の運営について (2 月 2 6 日(土)) ・旧川喜多別邸の視察について、鎌倉市より了解を得た。 ・吉屋信子記念館の申込完了。後日、利用料を服部委員へ支払う。 会場：鎌倉生涯学習センター 第 2 集会室 10:00～11:30 (会議) ・ハンドマイク付きの拡声器を県木連より借りて用意することとした。 ・懇親会の参加者人数について、服部委員へ連絡することとした。			
(3) 講習会等の運営について ①「いまさら聞けない」シリーズ (セミナー形式) 設備 (給排水、電気、空調) ・1/18 設備設計事務所協会の担当者として初鹿氏と石渡氏の両氏と棕委員長及び野路副委員長で打合せを行った。 ・基礎の基礎から話をして頂くことをお願いした。また、木造で 400～500 m ² 程度の規模を想定した話をして頂くこととした。 → 教材を探して頂けることとなった。 ・セミナー日程については、下記となった。 電気：4/8、4/15 担当：石渡氏 衛生：4/22、4/28 担当：初鹿氏 空調と機械：5/13、5/20 担当：初鹿氏			
②「新規開設建築士事務所」講習会の開催について (3 月 15 日 (火)) ・司会：磯部、あいさつ：芝副会長、閉会あいさつ：棕委員長とした。			
(4) 「新規開設建築士事務所」講習会のテキスト改訂について ・神奈川県常盤さんより改訂案の提出があった。主な改訂点としては、重要事項説明の項目を追加された。また、土法改正の内容を現在のままで良いか検討頂きたい旨の連絡もあった。 ・建築士の点数制度についての一覧を追加して欲しい。 ・3 月中にまとめたいため、各委員、担当の所を次回までにまとめて案を提出して頂くこととした。			
(5) C P D について (登録方法の周知等について等) ・各会で行っている C P D の内容について対比表を作成中である。 ・士会はオープン化されて、施工管理技士も登録されている。			

- ・事務所協会としては、事務所としての位置づけ、事務所の特徴について特化する内容を検討していきたい。

(6) 告示15号に基づく業務報酬基準について

①建築設計業務等積算基準プログラム体験版について（宮城会作成）

- ・委員各自で使用してみることとした。

②追加項目等の検討

- ・東京会の動きをみて検討する。
- ・省エネ法の人・時間数を折笠委員より情報を頂くこととした。
- ・定期調査（設備）について検討する。

(7) 会議室ピクチャーレールの利用について

- ・横浜支部 金子光一氏、横須賀支部 田中忠夫氏、横浜支部 平山正義氏より問合せあり。申込順に展示していくこととした。

(8) その他

①「開発許可関係実務の手引き」講習会 → 4月に手引き完成、5月末に開催予定

②公益社団法人 ロングライフビル推進協会（BELCA）の調査協力について

- ・アンケートが届き次第、各委員へ送付し、回答を頂くこととした。

③予算総会時（3月25日）の研修会開催について

時間：13:30～15:00

内容：業務報酬算定方法2010の説明会（担当：藤川副委員長、荻田委員）

対象：会員のみ

次回、平成23年 2月26日（土）10:00～11:30 会場：鎌倉生涯学習センター 第2集会室

会議終了後に見学会の運営を行う。

21～22 年度 第 20 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 23 年 2 月 26 日 (土)	会 場	鎌倉生涯学習センター 第 2 集会室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・○野路副委員長・×藤川副委員長 (委 員) ○廣澤・○折笠・○小島・○服部・○小泉・○荻田・×永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より 2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他 ・住宅性能評価・表示協会作成「長持ちする住まいづくりのすすめ」を参考に配布。 3. 議 題 (1) 講習会等の運営について ①「いまさら聞けない」シリーズ(セミナー形式)設備(給排水、電気、空調) ・テキストが「110 のキーワードで学ぶ世界で一番やさしい建築設備」(株)エクスナレッジ発行 2,940 円)となった旨を報告。 ・開催案内(案)を配布し、内容確認を行い、下記を修正することとした。 <修正点> ・分かりづらいので、「今さら聞けない」シリーズに①、②、③を付ける。 ・内容を「木造及び小規模特殊建築物等を想定した内容」へ変更する。→ 講師に確認する。 以上を修正し、会報 3 月号に同封することとした。 (2)「新規開設建築士事務所」講習会のテキスト改訂について ①改訂案について ・次回までに担当箇所の案を作成し、提出することとした。 ・最後に読み合わせをし、言葉等を統一する。 ・3 月末までに完成を目指す。 ・県担当箇所の追加内容(建築士の点数制度についての一覧)について、神奈川県常盤氏より資料提供があり、重要な内容なので参考として末項に入れることとした。 (3) C P D について(登録方法の周知等について等) ・折笠委員より資料の提出があり、説明された。 ・国交省のプロポーザルで C P D の評価点が 7/100 であった。 ・C P D の周知を会報に出すこととした。 ・事務所の特徴(特化する内容)を出し、宣伝していく必要がある。 ・22 年度の認定プログラムの一覧を次回に提出する。 (4) 告示 15 号に基づく業務報酬基準について ①建築設計業務等積算基準プログラム体験版の使用感想及びホームページ掲載について(宮城会作成) → 次回へ ②追加項目等の検討 → 次回へ ・省エネ法の人・時間数について(担当:折笠委員)			

- ・定期調査（設備）について

（５）会議室ピクチャーレールの利用についての報告

- ・2/10～3/10 横浜支部 金子光一氏、山口徹氏 展示
- ・3/10～4/10 横浜支部 (株)アーキテクトアソシエイツヨコハマ 平山 正義氏

（６）その他

- ・なし

次回 平成23年 3月11日（金） 15：00～ 神事協会議室

21～22 年度 第 21 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 3 月 1 1 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・×野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○廣澤・○折笠・○小島・×服部・○小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		

1. あいさつ 東日本大震災発生のため、なし。

2. 各種報告 ①前回議事録の確認 → 各自で確認をお願いした。
②その他

- ・ 3/17 「建築におけるほんとうの環境問題とは」勉強会の案内配布。参加をお願いした。
- ・ 3/25 「建築士事務所の業務報酬算定方法」説明会。現在 22 名の申込であることを報告。
- ・ 5/15 地引網大会実施、参加をお願いした。

3. 議 題

(1) 講習会等の運営等について

①「いまさら聞けない」シリーズ（セミナー形式）設備（給排水、電気、空調）

→ 担当等は後日決定する。

②「開発許可関係実務の手引き」講習会開催について

- ・ 手引き作成部数については、3 0 0 部作成とした。
それに伴い会場定員を厚木：100 名、横浜：200 名と修正する。
- ・ 建築士会と宅建業協会へ後援依頼をお願いし、後援価格として 7,000 円を設定する。
- ・ 手伝い等は後日決定する。

(2) 「新規開設建築士事務所」講習会のテキスト改訂について（改訂案の提出等）

- ・ § 2.4 担当の永田委員、荻田委員より改訂案の提出あり。
- ・ 2-1-1 ④ 設計業務に関する報告書（建築士法第 23 条の 6）『参考 4』と挿入
⑤ 管理建築士等による重要事項の説明（建築士法第 24 条の 7）
参考重要事項説明書の雛形を掲載（廣澤委員より）
→ 県常盤氏より追加資料としているとの回答をした。
- ・ 東京会作成の「これからの建築士事務所」（改訂版）も参考にすることとした。
- ・ 3 月末までに各担当者は、資料の提出をお願いした。また資料が集まり次第、棕委員長と磯部で最終のまとめを行うこととした。

(3) C P D について（登録方法の周知等について等）

①平成 2 2 年度建築 CPD 運営会議プログラム認定書類（3/7 現在）

- ・ 3/7 現在、5 1 プログラムが認定となっている。

②建築 CPD 情報提供制度の平成 2 3 年度の制度改善等について

- ・ 平成 2 3 年度より建築士定期講習が C P D 実績対象となった。それに伴い、平成 2 3 年以前に受講したものも追認する方針である旨を報告。
- ・ 推奨単位を年 1 2 認定時間と設定されたことを報告。
- ・ 支部の研修等も申請が可能なので、支部長宛にその旨の案内をすることとした。

(4) 告示 1 5 号に基づく業務報酬基準について

1) 宮城会作成建築設計業務等積算基準プログラム体験版の使用感想等について

- ・体験版なので、分からない。
- ・上原会長より、日事連でプログラムを利用出来る措置を講ずるように要望はしているとの話があったので報告した。

2) 追加項目等の検討

①省エネ法の人・時間数について（担当：折笠委員）

省エネ計画書届出についての下記内容の人工表の提出があり、説明された。

A.用途により異なります。

＜住宅（共同住宅・専用住宅等）300 m²～2,000 m²未満の設計料算定＞

※ 1 人工（1 時間額）3,000 円で想定

I 300 m²～ 750 m²未満 1 2 万～1 5 万（4 人工～5 人工）

II 750 m²～1,500 m²未満 1 5 万～1 8 万（5 人工～6 人工）

III 1,500 m²～2,000 m²未満 1 8 万～2 0 万（6 人工～7 人工）

全て省エネ計画書作成に伴う省エネ計画等を含む。

B.2,000 m²以上については内容が全て異なりますので、選択内容により決定してください。

- ・資料をもとに検討していく。

②定期調査（設備）について

- ・東京会の動向もチェックしていく。

（5）会議室ピクチャーレールの利用について

- ・3/10～4/10 横浜支部 (株)アーキテクトアソシエイツヨコハマ 平山 正義氏

（6）その他

1) 委員会検討依頼について

- ・委員長会より委員会主催の講習会時における担当委員の受講負担等についての統一規定案の作成依頼があった。

○講習会等実施に係る各種取り決めについて（内規案）として、下記を提案とする。

①講習会開催時における担当委員会の受講料について

- ・受付等の手伝いのみの場合は、受講料は不要。
- ・受講のついでに受付等の手伝いを行う場合は、受講料が必要。
- ・講習の講師を委員が行う場合は、原則受講料は不要。

②講習会開催時における担当委員会等の手伝い費について

- ・受講が目的であるため、日当の 1,000 円のみ支給する。
また、担当委員でない方で受講者が手伝いをする場合も同様とする。
- ・午後の講習で、午前を会議とした場合は、委員会費を支給することとし、手伝い費は別途支給しない。ただし、弁当を支給する。

○講師料等についての内規（案）についても併せて下記を提案する。

<本会>

①外部講師の場合（(社)日事連指定講習会の場合）

講演時間 30分毎 10,000円（税込）
交通費 実費
車代 4,000円
宿泊代 15,000円（食事代・税含）

②外部講師の場合（神事協独自講習会の場合）

講演時間 1時間 15,000円（税込）
交通費 実費
車代については、状況に応じて支給する。
資料等を作成させる場合は、資料代＋手間代を別途加算

③内部講師の場合

講演時間 1時間 7,500円（税込）
交通費 実費
資料等を作成させる場合は、資料代＋手間代を別途加算

<支部間>

半日（2時間程度） 10,000円
交通費 実費
資料等を作成させる場合は、資料代＋手間代を別途加算

2）神事協フェアについて

開催日程：平成23年9月9日（金）～10日（土） 9:00～17:00 雨天決行
会場：日本丸周辺敷地

- ・ 棕委員長と白井ブロック支部委員長で骨子を作成予定。
- ・ テント50張り、フードカー設置、上棟式を行う予定。
支部でも出展して欲しい。（支部の賛助会でも可）
- ・ 人集めのための団体（大道芸、ブラスバンド等）があれば紹介して欲しい。ただし、無償。
- ・ 人集めのためのアイデアを募集するので、良い提案があれば事務局まで提出して欲しい。
- ・ マスコミへのPRを行いたいので、知り合い等がいれば紹介して欲しい。

3）講習会の案内が分かりにくいので分かりやすくして欲しいとの要望について

- ・ 講習会案内にロゴマークを入れる。
- ・ 主催に担当委員会名称を入れ、2011-①等の標記をし、文字を大きく表示する。

次回 平成23年4月15日（金）14:00～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 22 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 4 月 1 5 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○棕委員長・×野路副委員長・○藤川副委員長 (委 員) ○廣澤・○折笠・×小島・○服部・○小泉・○荻田・○永田・×瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他 ・ 5/15 地引網大会への参加をお願いした。 ・ 「都市計画法 開発許可関係実務の手引」作成について 300 冊作成 286,650 円 内村印刷(株)へ作成依頼した旨を報告。			
3. 議 題 (1) 講習会等の運営等について(司会、受付、挨拶について)			
①「開発許可関係実務の手引き」講習会 日時：平成 2 3 年 5 月 1 8 日(水) 厚木市文化会館 小ホール 集合 11:00 司会：小泉委員 挨拶：芝副会長 閉会：藤川副委員長 受付等：荻田委員、永田委員 日時：平成 2 3 年 5 月 2 7 日(金) 横浜市開港記念会館 講堂 集合 11:00 司会：廣澤委員 挨拶：上原会長 閉会：棕委員長 受付等：委員を中心に参加者へ依頼する。 ※ いずれも昼食を用意する。 ・ 各委員へ申込をお願いした。			
②「建築確認手続き等の運用改善(第二弾)及び規制改革等について」説明会 日時：平成 2 3 年 4 月 2 6 日(火) 横浜市開港記念会館 講堂 集合 13:20 司会：野路副委員長 挨拶：上原会長 閉会：芝副会長 受付等：委員を中心に参加者へ依頼する。 ・ 野路副委員長へ打診する。また、テキスト運搬については、棕委員長へお願いした。 ・ 各委員へ申込をお願いした。			
(2)「新規開設建築士事務所」講習会のテキスト改訂について(改訂案の提出等) ・ 設計監理指導委員会より資料の提出があり。 ・ 案を作成し、出来次第委員へ配布し、意見等を聞くこととした。			
(3) C P D について(登録方法の周知等について等)			
①建築 CPD 情報提供制度講習会等実施者用マニュアルの改訂内容報告 ・ プログラム認定手数料について、新たに 10～49 件の企業内研修 50,000 円/年が追加され、更に 50 件以上の場合は+25 件ごとに 25,000 円加算するとなった。 ・ 建築士法 22 条の 2 に規定された定期講習の登録について、が追加された。			
②建築 CPD 情報提供制度参加登録希望者用マニュアルの改訂内容報告 ・ 建築士法 22 条の 2 に規定された定期講習の建築 CPD 実績の登録が追加された。 また、平成 22 年度までに実施された定期講習を受講された方は、自己申請(申請料 500 円)による手続きが必要となるため、会報 5 月号に案内を入れ周知することとした。			

(4) 告示15号に基づく業務報酬基準について

①追加項目等の検討

- ・定期調査（設備）については、現在調査中。

②耐震診断（非木造）の修正について（p.57 表-2）

- ・人・時間数の式が8倍となっていたため、1/8へ赤字で修正した。

③神奈川県県土整備局が平成23年度設計業務委託等技術者単価表を公表したことに伴い、平成22年度のものと差替えることとした。

- ・以上②及び③の内容を変更及び修正。2011版とし、ホームページへアップする。

(5) 神奈川県下マンション管理アドバイザーCPD制度全体会議への参加について

- ・4/14 会議出席報告（棕委員長）
- ・参加団体のメンバーは、ソフトの面（建築士でない）が多いので、当会にはハードな部分が期待されている。
- ・各団体が研修・セミナー等を行っているので、当会も参加すれば相互乗り入れも出来る。

<意見>

- ・参加する方が良い。また、参加する場合は、ハードに特化したい。
- ・マンション管理士は、建築士も取得しておいた方が良い。

(6) 会議室ピクチャーレールの利用について

- ・現在なし。引き続き募集をしていく。

(7) その他

①「マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所名簿」について

- ・名簿の閲覧では済まない場合の対応について
例．2事務所を選定して紹介して欲しい。等
→ 名簿の運用方法についてのルール作りが必要。
選定する基準になるため、マンション管理の経験の有無の記載。
経歴（実績）を出してもらう。無い場合も出す。
近くの方を紹介する。

次回 平成23年5月13日（金）14:00～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 23 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 企画業務委員会 議事録			
開催日時	平成 23 年 5 月 13 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ○椋委員長・×野路副委員長・×藤川副委員長 (委 員) ○廣澤・○折笠・○小島・○服部・×小泉・○荻田・○永田・○瀬戸		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②「開発許可関係実務の手引き」講習会の運営確認 各会場集合時間：11:00（昼食用意）。また、各会場の役割を確認した。 ③その他 ・各種講習会案内等を配布し、参加をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 神事協フェアについて			
日時：平成 23 年 9 月 9 日 (金) ～ 10 日 (土) 日本丸メモリアルパーク ※雨天決行			
タイトル：みらいふれあい祭り in かながわ（みんなで考えよう!!まちづくり・家づくり）			
①役割及び企画等について			
・企画業務委員会は、展示部会担当になったので、協力をお願いした。また、賛助会として、小沼氏と熊野氏が担当となった。 ・新旧委員が両方で参加し、協力して行うこととした。 ・9 日を専門家向け、10 日を一般消費者向けとしている。 ・6 月中旬には内容を決定したいので、委員の皆様で企画提案を事務局磯部宛に提出して欲しい。 ・ブースの大きさは、1.5 間×2 間。 ・震災関係（被災地である、岩手、宮城、福島の物産展）1 ブースを予定する。 イメージとしては、被災地のものを仕入れて、品物と交換に義援金としてお金を頂く。 ・液状化対策等のセミナーの実施（賛助会） ・スタンプラリーの実施、大道芸 ・クィーンズスクエア、ランドマーク等のクーポンが配布出来れば人寄せになるのでは？ アプローチ方法を検討する。 ・企画については、市民活動の延長で行っていることを基本に考えるのが早いのでは？ ・支部でも出展して欲しい。ブロック支部委員会でブースの希望を支部に聞いて頂くこととした。 → ブロックが、数支部によって形成されている場合は、支部が順番に出展を考えては？ ・学生（大学、専門学校）へも P R したい。 ・「住・緑・家」運営特別委員会から 2 ブースの希望があった。 ・木造特別委員会では、上棟式を行うことと、1 ブースの希望があった。			
(2) 「新規開設建築士事務所」講習会のテキスト改訂について			
・ブロック支部委員会より 8 ブロックで開催したいとの要望があった。 ・7 月までにテキストの改訂を行いたい。テキストの改訂が終了したら、ブロック支部委員会と調整し、講師養成講習を実施することとした。			
(3) C P D について（登録方法の周知等について等）			
・建築士法 22 条の 2 に規定された定期講習の建築 CPD 実績の登録が追加されたため、会員へ周知文を作成し、会報 5 月号に同封したことを報告。			

(4) 告示15号に基づく業務報酬基準について

①追加項目等の検討

- ・定期調査（設備）について
→ 引き続き資料を収集することとした。

(5) マンションの大規模修繕に関する講習企画について

- ・修繕には、給排水、ユニットバスの交換、外壁、防水等があるので、その内容についての勉強会。
- ・大規模修繕の材料、工法についての内容。（賛助会等）
- ・劣化調査の方法。
- ・改修の実施方法等のセミナー。
- ・実施中物件の見学会（まち協）。都市再生機構の減築モデル等の見学会。
- ・改修の勉強会。
- ・継続的に必要なため、部会等で内容を検討すべきである。また、登録事務所をバックアップするためにも必要である。
- ・神奈川県下マンション管理アドバイザーCPD 制度全体会議へ参加すれば、各団体が行っているセミナー等に参加出来る。
- ・登録事務所に必修講習等を実施し、レベルを上げる必要がある。

<今後の検討課題>

- ・「マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所名簿」の運用方法についてのルール作り。
- ・選定する基準になるため、マンション管理の経験の有無の記載。
経歴（実績）を出してもらう。無い場合も出す。
- ・紹介する場合、近くの方を紹介する等のルール作り。

(6) 会議室ピクチャーレールの利用について

- ・ブロック支部委員会でPRしてもらうこととした。
- ・東日本大震災の写真を展示することとした。

(7) その他